No.2　２０２５年 12 月 7 日

待降節・アドベント第二主日礼拝

説教『お言葉とおりになりますように』

吉丸初美師

司式	山根眞三さん
奏楽	自動演奏機
招詞	ヤコブの手紙 5章7～8節
主の祈	（564）
讃詠	546
交読詩編	詩146編
祈祷	
讃美歌	21－236
使徒信条	（566）
聖書	ルカ福音書 1章26～38節
説教	(口語訳83頁、新共同訳100頁)

『お言葉とおりになりますように』

祈祷	
讃美歌	21－240
聖餐式	（讃美歌21－81）
献金	
感謝	
報告	
頌栄	543
祝祷	
後奏	

次週の礼拝(待降節・アドベント第三主日礼拝)

説教『恐れずに受け入れなさい』

マタイ福音書 1章18節～25節

招詞Ⅰコリント 4章4～5節/交読詩篇28編

讃美歌 546、21－235、21－237、544

礼拝当番

今週 7 日 司会　山根眞三さん

次週 14 日 司会　大野友子さん

会堂清掃奉仕　12 月 7 日（日）

会堂掃除後行います。

本日の集会

★教会学校　午前9時45分～

★出会いのひととき　礼拝後～

それぞれの思いを語り合いましょう。

★12月定例役員会　コーヒータイム・掃除後

教務・教勢報告、会計報告、12月の計画について

教会役員の働きと健康を覚えてお祈りください。

今週の集会/スケジュール

§12月9日(火)10時 広島キリスト教信徒会理事会

会場:広島復活教会

※12月12日(金)めぐみ幼稚園アドベント第二礼拝

10時～　お誕生礼拝も行います。クリスマス祝会に向けて、讃美歌やページェントの練習お部屋の飾りつけプレゼント作りを楽しんでやっています。

次週の集会/スケジュール

●12月14日(日) 13時～15時30分　レコードコンサート

ワーグナー＆R.シュトラウス/管弦楽曲集

お誘いあわせの上是非ご参加ください。

★12月16日(火)10時30分～12時　聖書を読む会

創世記7章を読みます。

§ 12月24日(水)10時～　広島拘置所クリスマス祝会

§ 12月24日(水)13時30～16時広島拘置所教誨奉仕

施設にある方々の信仰生活を覚えてお祈り下さい。

ヒロシマハンドベルリンガーズ40周年記念コンサート

～感謝の気持ちを込めて～

日　時：12月27日(日)13時30分開場　14時開演

場　所：広島西部教会　会堂

◎ クリスマス特別献金

神さまの恵みを感謝して、感謝と献身の祈りの中にクリスマス特別献金を捧げましょう。

目標額　350，000円

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	1	5	6
聖書を読む会	3	1	4

◇今週の説教要旨(待降節・アドベント第二主日礼拝)

『お言葉とおりになりますように』ルカ福音書 1章5～25節

アドベント第二主日礼拝は、人間的には弱いと思える存在を通して、神は豊かな恵みを注いでくださる物語を分かち合います。私たちの周りには、目立たない取るに足らなようなものが、神の手に置かれると予想しない大きな働きを生み出すことがあります。自然界にはそうしたものが多くありますが、神が人を選ばれる働きにも同じことが言えます。その神の選びは辺境の小さな者に向かいます。ナザレの少女マリアは神の計画の中心に置かれ「恵みで満たされたもの」として紹介されます。婚約中であった彼女に天天使はイエス様の誕生を話しました。彼女の胎内では神の霊による新しい創造が始まります。それは神が世に来るということです。その目的は、神が救いの業を始め、続け、成し遂げられるためでした。このように救いは、神だけがもたらすことができます。私たちはどの様に応答しますか。それがマリアの言葉に表れています。「お言葉どおりになりますように」信じ、服従し、受け入れ、讃美し仕えることです。彼女は天使の言葉を聞いた後疑わず尋ねました。そして思索し最後に従ったのです。疑うのではなく問いかける。これが信仰的追求です。しかし、彼女はこれから体験する苦しみや誤解の重さ、さらには命さえ捨てることになるかもしれないことが分かっていたのでしょうか。私たちに隠されている神の本質が、イエス様によって啓示されます。マリアは「主が語られるのなら、この身を委ねます」と告白しました。当時彼女の年齢は14歳くらいだと言われています。彼女は敬虔なユダヤ教信徒で、その信仰の中で天使の言葉に応答しました。それは盲従ではなく、問いかけ神と真剣に向き合う信仰でした。私たちも自分の力だけではできませんが、神が共におられるならマリアのようにできるのです。イエス様の誕生が私たちに求めているのは信仰です。処女降誕は神が救うために人間の生活に入って来られたということです。そして、それは私たちのためです。マリアはそのために神に選ばれ、恵みを与えられ用いられました。自己捧げの信仰告白がここにあります。